鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

第２２号　Ｈ１９．５．２５

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目１番１号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

「志」高く

教頭　神田　芳文

先日、新聞に高校生の意欲に関する調査が掲載され、「偉くなりたい」と考える日本の高校生が他国の同世代の人に比べて少ないとの結果が出された。「偉い」の定義には考察の余地があるが、日本の高校生が「偉くなりたい」くないと考える背景には、企業のトップや官僚が頭を下げる姿の報道等、権威の喪失ということも影響しているようだ。しかし、責任が重くなる、自分の時間がなくなるという意見や、ちょっと働いてそのお金でしばらく暮らせればいいといった姿勢には、若者の若者らしい意欲や夢、希望というものが微塵も見えてこず、さらには自分本位の無責任な姿も浮き彫りになっているように思える。近年、ニートやフリーターに代表されるように、若者の夢や希望が小さなものになりつつあるのではと危惧と合わせて心にかかる。

鶴丸生には、「フォー・アザーズ」の精神、他人のために、自分に何かできることはないかということと自分に恥ずかしくない生き方をするということを基本に据えて考え、早くから高い「志（目標）」を持って自己実現させるべく努力していってもらいたい。その実現のためには、次に挙げる五つの「勇気」を持ち、努力していくことが求められる。その五つの「勇気」の一つ目は、始める勇気であり、二つ目は継続する勇気、三つ目に中止・軌道修正する勇気、四つ目は誰もやらなかったことをやっていく勇気である。それらを敢然とやってのけられるのが鶴丸生であると考える。

最後の五つ目は「日常を重ねる勇気」である。大きな志の実現には圧倒的な日常の積み重ねが不可欠である。日常とは目に見えた変化に乏しく、顕著な成果や評価からも遠い、自らとの内なる戦いである。こんなことをしているよりはもっと別の何かをした方がとか、こんなことをしていて何になるのかとかいう疑問を持ちつつ、それでも自らを鼓舞して突き進むものである。そこには我慢や忍耐も必要であろうし必ずこの先に大義が達成できるという意志も持たなくてはならない。まさに「勇気」の必要な作業である。鶴丸生には、この日常との戦いを制する「勇気」をも備え、大きな夢と希望を持って日々を過ごしてもらいたい。そのことが社会に蔓延しつつある「小さな希望しか抱けない」若者への確かなエールになると信じている。

ちなみに、世間的に評価の高い職業の人が決して「偉い」のではないということだけは付け加えておきたい。

三学年遠足　～初志貫徹～

学校行事の見直しで、昨年度まで七月に実施されていた「一日遠足」を今年度から四月に実施することになった。年度当初の慌ただしい中ではあるが、クラスや学年の親睦と一体感を深めるにはこの時期が良いという判断からである。三学年は例年、生見小からの千貫平登山となっている。新緑に囲まれた山道をうっすらと汗をかきながら登ると、開聞岳、錦江湾そして桜島を一望する千貫平に到着する。この豊かな自然、雄大な風土が「薩摩人」を育んできたのである。学校から解き放たれた生徒は、昼食にレクリエーションにと大はしゃぎである。その後、恒例の「決意表明」にはいる。「初志貫徹」と書かれた横断幕の前に集合し、生徒会長・前田一勝君の決意表明、小倉校長の激励の言葉、そして応援団のエールの後、前田君のかけ声に続けて「頑張るぞ！勉強するぞ！合格するぞ！」と全員で声の限りに叫んで勝ち関をあげた。実は、当日は、風が強く数年間使い続けてきた「初志貫徹」の横断幕の布が大きく風をはらんで破れたのであるが、これは「今までの記録を破る」という縁起物で、三学年一同「初志貫徹」を深く心に刻んだ意義ある一日遠足となった。

二学年遠足　～クラスの和～

絶好の遠足日和のなか、二年生は南薩少年自然の家～吹上海浜公園めざして定刻どおり鹿児島中央駅西口を出発した。南薩少年自然の家でトイレ休憩、全体注意を行い、十時にサンセットブリッジ経由で吹上海浜公園へ出発した。徒歩で約三十分ほどかけて到着し、①集団行動の実践、②クラス・学年の和と団結という今回の遠足の意義を皆で確認したあと、一時間ほど学級ごとにレクリエーションを楽しみ、昼食をとった。昼食後の自由時間では、広場で球技をしたり、アスレチックに挑んだり、サイクリングをするなどそれぞれに有意義な時間を過ごした。十四時にはバスに乗り、十五時半には無事学校へ帰着した。

遠足を通して印象的であったのは、学級ごとのレクリエーション活動が充実していて、和やかな雰囲気で全員が楽しめたことである。生徒一人一人が中心となりクラスを盛り上げる姿には、鶴丸での一年間の大いなる成長を感じた。二年生のこれからの学校生活に期待したい。

一学年遠足　～学年で一致団結～

一学年は平和の尊さを実感し、郷土の歴史に触れることも出来るということなどから、知覧特攻平和会館と武家屋敷に行った。幸い天気にも恵まれ、全行程を無事に予定通り終えることが出来た。

「平和会館は以前にも来たことがあるけれども、来るたびに新たな発見があります。」と言った男子生徒。また、武家屋敷では、「県外からの観光客の方から鶴丸生に対して行動面でお褒めの言葉を頂いた。」との報告が某担任からあった。

午後は平和公園で昼食、そのあと学級毎にレクリエーションを楽しんだ。そして、遠足の最後にクラス対抗綱引き大会を行った。正・副担任も一緒になり、クラス全員が力を一つに頑張った。結果は優勝十三R、準優勝十七Rであったが、全力を出したことやクラス全員が初めて一つになったことからくる爽快な気持ちで一日を締めくくることができた。最後に平和公園を全員で清掃したあと帰途についた。

PTA総会

五月十四日ＰＴＡ総会が開かれ、前年度会務報告及び決算報告、今年度事業計画案及び予算案、新役員の選出、空調機器維持管理費の見直しなどについての協議が行われすべて承認された。

学校の現況報告では、保護者による学校評価の分析と学校としての対応や携帯電話を子どもに持たせる際の留意事項について説明があった。総会後、ＰＴＡ監事を退任された下西恵さんと吉見桃子さんに感謝の意を表して記念品と感謝状が贈呈された。

選出された新役員は次の通りです。

会長　村山英樹氏
副会長　飯尾加恵子氏
水流純大氏
監事　松元真吾氏
藤本徳昭氏

交通安全教室

五月十一日（金）、交通安全教室が行われた。まず自転車事故に関するビデオを鑑賞し、その後、鹿児島西警察署の北平警部補からご講話をいただいた。警部補は「自転車は立派な車両であり、被害者にも加害者にもなりうる。自分の命を大切にして毎日の生活を送って欲しい。」とお話された。小さな不注意が大きな事故につながる。余裕を持ち、安全第一で日々を過ごそう。

三年生集団読書

五月二十一日（月）、三年生の集団読書会が行われた。今回の対象作品は宮城谷昌光の「花の歳月」で、三年生が二年次より読み深めてきた作品である。各クラスの委員長・副委員長が中心となり実施計画案を準備し、当日に備えた甲斐があり、それぞれのクラスで有意義な読書会となったようである。あるクラスの実施報告から次のような感想が聞けた。

「人間の本性は善か悪かという討議の柱を立てたが、そもそも善や悪とは何なのかという討議になった。予想していたよりもはるかに多くの意見や価値観に触れることができ、高校生活最後の読書会にふさわしい内容であったと思う。」

耐震工事のお知らせ

平成十九年度生徒館西側の耐震・大規模改修工事は本工事に向けて各準備を進めています。県建築課、営繕室及び設備設計会社との打合せも順次行っており、美術準備室等の普通教室改装工事は順調に進み、今月末には完成する予定です。

また、東側新教室の空調設備設置工事は、室内機・室外機の取付も終わり、管理システムの試運転を残すのみとなりました。

なお、空調管理システム工事の関係で五月二十六日（土）に一時間全校舎停電をします。この間はトイレも使用禁止になります。

６月の行事予定

６　月

1	金	中間考査時間割発表 水泳前健康診断	実習
2	土	**駿台模試（2，3年）**	
3	日		
4	月	全校朝会 集団読書(1年)	
5	火	PTA総務部 学年代表者会	
6	水		
7	木		
8	金	**中間考査（1日目）** 学校安全の日,中掃除	
9	土	第1回英検一次試験	
10	日		
11	月	**中間考査（2日目）**	
12	火	**中間考査（3日目）** 中高連絡会	
13	水	**月曜校時**（朝会なし，5分遅れなし）	
14	木	**クラスマッチ（午後）**	
15	金	**クラスマッチ（終日）**	
16	土	**進研模試（3年）**	
17	日	**進研模試（3年）**	
18	月	全校朝会	宅習時間調査
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土	（土曜悠学講座）	
24	日		
25	月	学年朝会	定期教育相談
26	火		
27	水	保健講話	
28	木	1・2年実力考査時間割発表	
29	金		
30	土		